

書名	興福寺に鳴り響いた音楽			著者名	磯 水絵／編集		
出版社	思文閣出版	ISBN	978-4-7842-1993-3	本体価格	¥8,000	発売	2021/4/1
内容	興福寺はかつて日本音楽の一大中心地であり、声明(しょうみょう)(仏教音楽)や舞楽が一年を通じて絶え間なく鳴り響く寺院であった。興福寺がどのように音楽と関わってきたのか、あるいはどのような音楽が鳴り響いていたのか。鎌倉時代、興福寺で活躍した楽人、拍近真が著した『教訓抄』をはじめとして、古代から近現代のさまざまな視点から興福寺の音楽に迫る。						

書名	教会と千歳飴			著者名	上野 誠／著		
出版社	小学館	ISBN	978-4-09-388815-8	本体価格	¥1,200	発売	2021/4/2
内容	昭和の大ベストセラー『梅干しと日本刀』の令和版を目指す読みやすくてわかりやすい新機軸の日本文化論。●万葉びとの原農耕、●穀物と鉄が幸福をもたらすか？●米と魚を選んだ日本(交易の知恵)ほか全6章で構成。						

書名	藤原仲麻呂政権の基礎的考察			著者名	木本好信／著		
出版社	志学社	ISBN	978-4-909868-03-9	本体価格	¥3,600	発売	2021/4/5
内容	わが国における律令官僚制政治は、その本格的導入をはかった藤原不比等の孫・仲麻呂に至り、いちおうの完成を見ることとなった。本書では、仲麻呂政権の特質と、前後も含めた政治史を仔細に検討することで、「女帝の時代」であり「太上天皇の時代」でもある奈良朝における最大の問題である、「天皇専権」と「貴族専権」のせめぎ合いの実相を解明するものである。						

書名	水彩印象画 日本のこころ 第一集			著者名	矢野元晴／著		
出版社	メディアパル	ISBN	978-4-8021-3236-7	本体価格	¥2,000	発売	2021/4/13
内容	水彩印象画法で描く、日本の風景と情景の第一集。 日本の美しい風景と情景が、光と影でドラマティックに描かれている。歴史の街・鎌倉で生まれ育った青年画家の旅は、伊勢神宮から静かに始まり、熊野、奈良そして京都へと日本の歴史の中心点の中で進められていく。						

書名	灘校と西大和学園で教え子500人以上を東大合格させたキムタツの「東大に入る子」が実践する勉強の真実			著者名	木村 達哉／著		
出版社	KADOKAWA	ISBN	978-4-04-110938-0	本体価格	¥1,500	発売	2021/4/16
内容	灘校の名物英語教師が教える「東大生を育てる家庭の共通項」名門灘校の英語教師として数々の生徒を東大に送り込んできたキムタツが、悩める父母や教員にむけて指南。リビングで学習、よく本を読む、睡眠はたっぷりなどの共通項に、教え子の成功例・失敗例も多数紹介！						

書名	聖徳太子に秘められた古寺・伝説の謎			著者名	瀧音能之／編集		
出版社	ウェッジ	ISBN	978-4-86310-236-1	本体価格	¥1,400	発売	2021/4/20
内容	教科書から「聖徳太子」の呼称が消えて久しいが、厩戸王こと聖徳太子は、摂政として天皇を補佐し、十七条憲法の制定、遣隋使派遣など、大陸文化の積極的な受容に努め、国家の体制づくりに尽力したことで知られる。『日本書紀』などが「聖者」として太子を礼賛する一方で、太子にまつわる謎・不明な点が多い。いかにして聖徳太子は「聖者」(カリスマ)となり得たのか？ 日本書紀を精読し、あえて書紀が描かなかった部分を、各地の太子の足跡・伝承からも補足しながら、古代史の第一人者が謎解き風に真実に迫る歴史教養本。						

書名	雄略天皇の古代史			著者名	平林章仁／著		
出版社	志学社	ISBN	978-4-909868-04-6	本体価格	¥2,700	発売	2021/4/30
内容	「大悪天皇」か、それとも「有徳天皇」か——。雄略天皇の治世は、おおよそ5世紀後半に比定される。中国史書に「倭国」として登場するこの時期の日本は、各地で巨大な前方後円墳が営まれる古墳時代であり、豪族たちによる激しい権力抗争が繰り広げられていた。						

書名	院政 増補版 もうひとつの天皇制			著者名	美川圭／著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-191867-3	本体価格	¥900	発売	2021/4/20
内容	律令制成立期から南北朝期までの政治史を描き、日本特有の権力構造を鮮やかに解明する。概括となる新章を加え、索引を付した決定版。						